

水産物の産地水揚量・卸売価格、輸出入  
及び家計消費の月別動向について(月報)  
(平成21年10月)

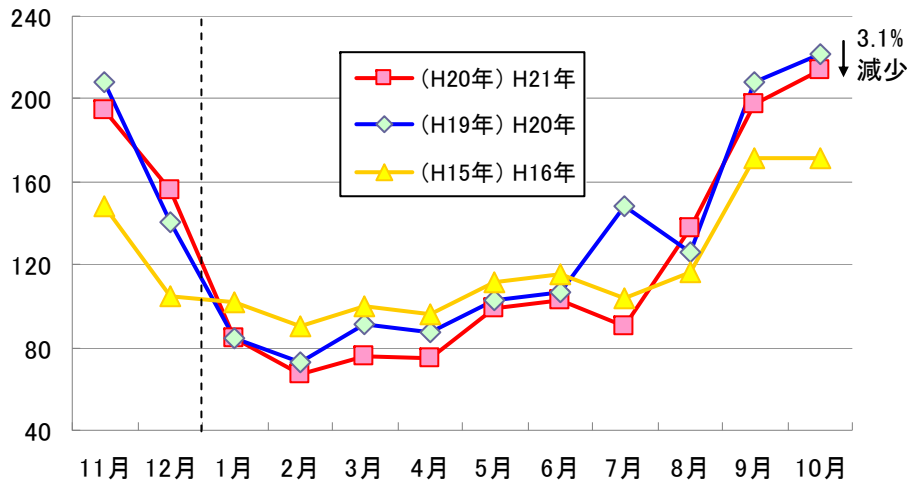
平成21年12月  
水産庁漁政部企画課

# 1 産地水揚量の動向

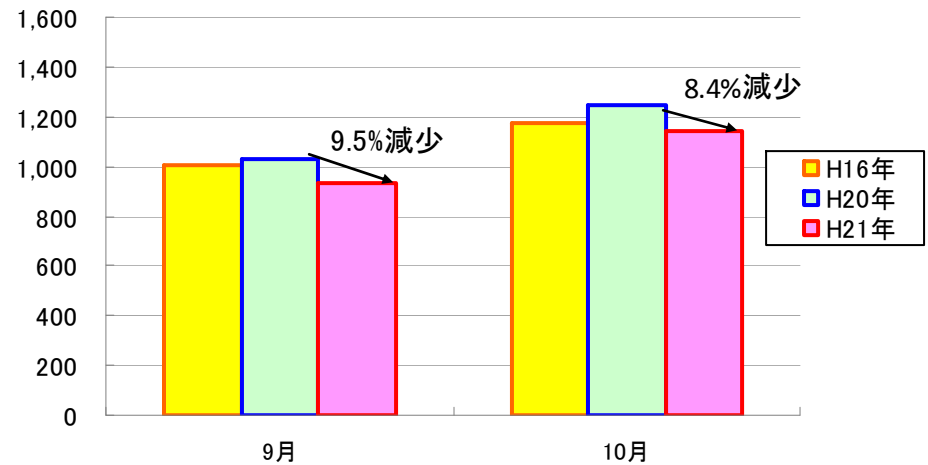
○平成21年10月の水産物産地水揚量は214千トで、前年同月と比べ3.1%減少した。さんまは、北海道の漁場で、10月中旬の台風通過により、それまでは好漁であった漁海況が一変、来遊が途絶えたことから、10月下旬での早期終漁を余儀なくされたことや、銚子での漁が振るわなかったことから前年同月と比べ、17.5%減少した。また、ほっけ(38.0%減)、生鮮かつお(60.6%減)等で水揚げが減少した。一方、5月以降、前年同月を下回って推移していたさば類は、今月に入り八戸、境等でまとまりをみせており、前年同月比7.4%増加と5ヵ月ぶりの増加となった。かたくちいわしについては、釧路での水揚げが好調だったことから、182.2%増加となった。

○平成21年の水産物の累計産地水揚量は10月までで1,143千トで、前年同期と比べ8.4%減少した。これは、累月ベースで、生鮮するめいか(51.0%増)、まいわし(110.0%増)、冷凍びんなが(68.0%増)等で水揚量が増加した以上に、さば類(15.0%減)、生鮮かつお(43.0%減)、ほっけ(29.0%減)等で水揚量が減少したためである。

■産地水揚量の推移(単月ベース)



■9月、10月の累計産地水揚量の変化



水揚量	数量(千トン)	H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21累計
		1,603	84	67	76	75	99	103	90	137	197	214	1,143
		-1.1%	0.0%	-7.2%	-16.7%	-14.3%	-3.5%	-3.5%	-39.2%	8.5%	-5.0%	-3.1%	-8.4%
	H16年同月比	※-1.7%	-17.1%	-25.5%	-23.8%	-21.6%	-11.1%	-10.7%	-13.7%	18.1%	15.3%	25.3%	-2.8%

出典: 農林水産省「産地水産物流通統計」

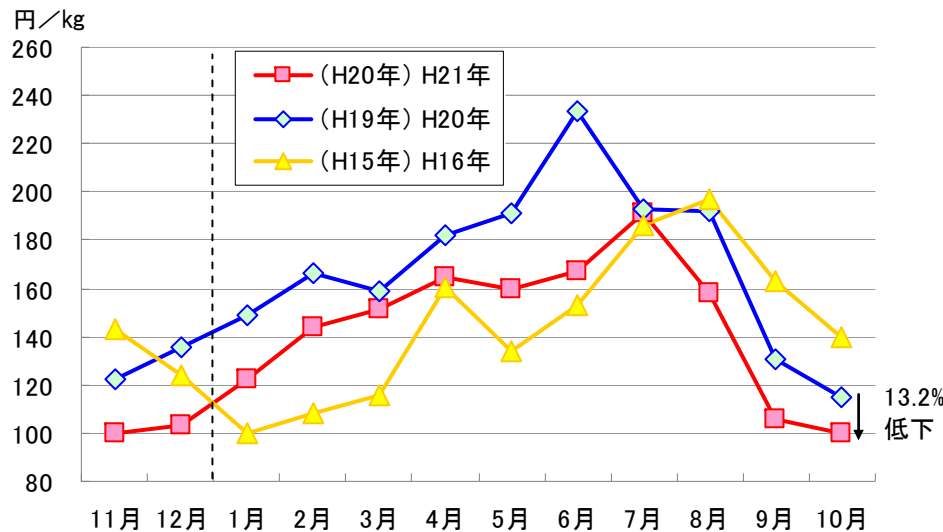
- 注: 1) 本統計は、全国2177漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
- 2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5639千トン)に対する割合(カバー率)は約30%である。
- 3) 2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。
- 4) 表中の※については、平成15年合計値との比較である。

## 2 産地平均卸売価格の動向

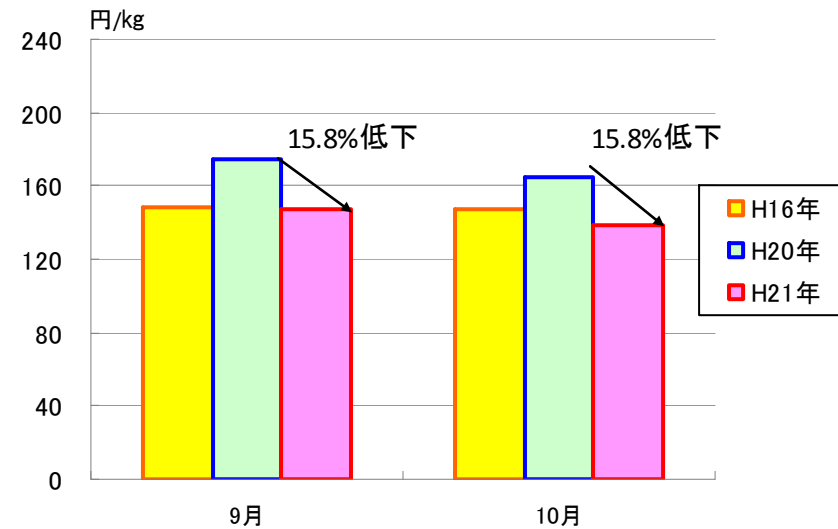
○平成21年10月の産地平均卸売価格は100円/kgで、前年同月と比べ13.2%低下した。これは、前年同月と比べ、生鮮びんなが、冷凍びんなが、まいわし等で水揚金額が増加したものの、さんま、生鮮かつお、生鮮めばち等で水揚金額が減少したためである。

○平成21年の産地平均卸売価格(累計平均)は10月までで138円/kgで、前年同期と比べ15.8%低下し、前年同期比15.8%低下であった先月並となった。累月ベースでは、生鮮するめいか、まいわし、生鮮びんなが等で水揚金額が増加したが、冷凍かつお、さば類、生鮮かつお等で水揚金額が減少した。

■産地平均卸売価格の推移(単月ベース)



■9月、10月の産地平均卸売価格(累計平均)の変化



		H20平均	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21平均
平均産地 卸売価格	価格(円/kg)	150	123	144	151	165	160	167	191	158	106	100	138
	前年同月比	4.9%	-17.4%	-13.3%	-4.8%	-9.4%	-16.3%	-28.4%	-1.1%	-17.4%	-19.1%	-13.2%	-15.8%
	H16年同月比	※0.0%	22.8%	33.7%	30.7%	2.7%	19.7%	9.3%	2.7%	-19.7%	-34.9%	-28.5%	-6.1%

出典:農林水産省「産地水産物流通統計」

- 注: 1) 本統計は、全国2177漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
- 2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5639千トン)に対する割合(カバー率)は約30%である。
- 3) 2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。
- 4) 表中の※については、平成15年合計値との比較である。

## (参考)魚種別の累積水揚量・卸売価格

品目	累積の上場水揚量 (t)			累積の平均卸売価格 (1kg当たり円)			
	平成21年 1月～10月	20年 1月～10月	対前年 同期比	平成21年 1月～10月	20年 1月～10月	対前年 同期比	
			%			%	
まぐろ (生鮮)	1	2 204	2 690	82	1 527	1 642	93
〃 (冷凍)	2	493	749	66	1 737	3 035	57
びんなが (生鮮)	3	34 579	28 087	123	275	312	88
〃 (冷凍)	4	16 058	9 558	168	279	392	71
めばち (生鮮)	5	5 474	7 090	77	1 066	1 134	94
〃 (冷凍)	6	14 728	17 478	84	807	856	94
きはだ (生鮮)	7	7 027	9 633	73	657	642	102
〃 (冷凍)	8	6 470	8 019	81	553	600	92
かつお (生鮮)	9	42 458	75 116	57	353	302	117
〃 (冷凍)	10	171 119	184 694	93	146	203	72
まいわし	11	32 334	15 369	210	104	112	93
うるめいわし	12	18 495	20 195	92	56	60	93
かたくちいわし	13	76 751	83 677	92	32	56	57
まあじ	14	91 244	86 994	105	156	222	70
むろあじ	15	15 285	17 253	89	113	101	112
さば類	16	287 791	336 970	85	72	89	81
さんま	17	170 037	184 144	92	78	85	92
ほっけ	18	66 323	93 649	71	45	59	76
するめいか (生鮮)	19	51 990	34 505	151	144	158	91
〃 (冷凍、遠洋)	20	754	1 269	59	176	183	96
〃 (冷凍、近海)	21	30 270	30 771	98	218	212	103

資料:農林水産省「産地水産物流通統計」

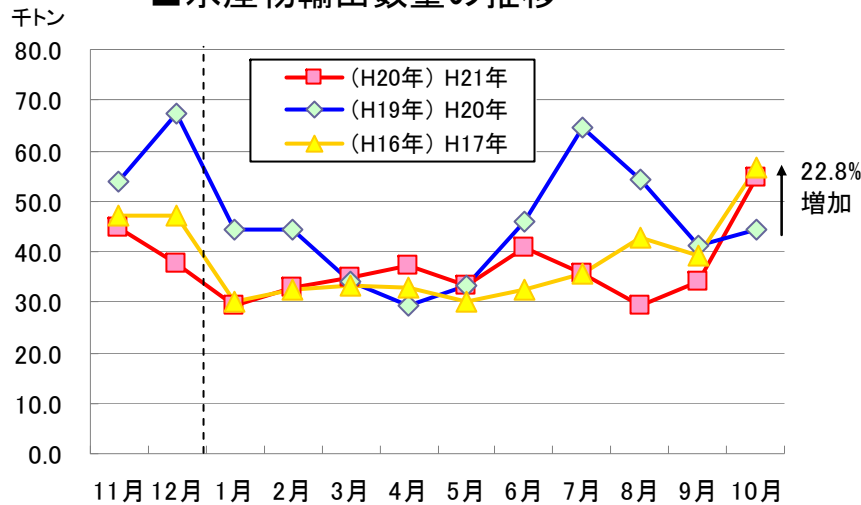
注:1)「まぐろ」とは、くろまぐろ及びみなみまぐろの合計である。

### 3-① 水産物輸出数量の動向

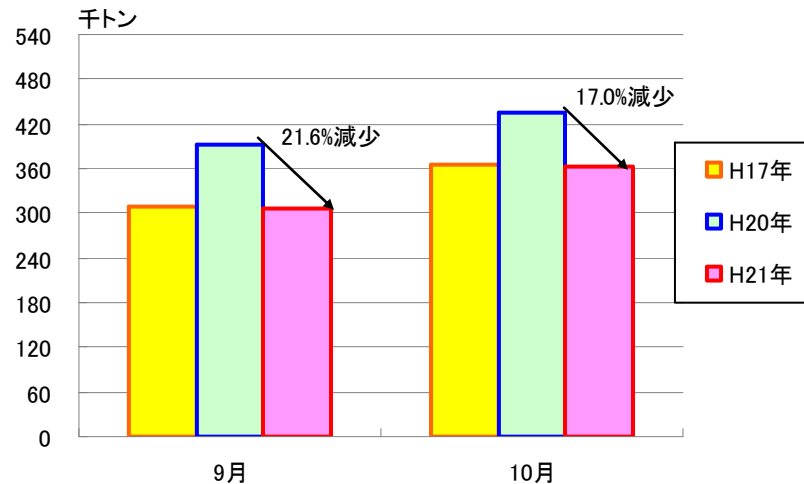
○平成21年10月の水産物輸出量は54.6千トで、前年同月と比べ22.8%増加した。続く円高を背景に、前年同月を下回っていた水産物輸出量は、国内の漁獲量が好調であった、すけとうだら(210.5%増)、さけ・ます(70.5%増)の輸出が大幅に増加したことで、6ヵ月ぶりに前年同月を上まわった。すけとうだらは、主に韓国、中国向けが、さけ・ますについては中国、タイ向けが増加した。一方、さば(18.8%減)、かつお類(45.4%減)、まぐろ類(29.2%減)については、輸出量が減少している。

○平成21年の累計水産物輸出量は10月までで361.7千トで、前年同期と比べ17.0%減少した。品目別にみると、すけとうだら(46.2%増)、びんながが好調であったまぐろ類(32.5%増)、冷凍さんま(17.4%増)等で輸出量が増加した。円高や世界的な経済不況の影響、国内漁獲量の減少により、さば(42.3%減)、かつお類(68.9%減)、いか(24.3%減)等の品目で輸出量が減少した。

■水産物輸出数量の推移



■9月、10月の累計水産物輸出量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21累計
輸出	数量(千トン)	518.4	29.2	33.0	34.8	37.2	33.1	41.0	35.5	29.3	34.0	54.6	361.7
	前年同月比	-15.3%	-34.3%	-25.5%	1.5%	27.7%	-0.7%	-10.7%	-45.0%	-45.9%	-17.9%	22.8%	-17.0%
	H17年同月比	※22.2%	-2.3%	1.9%	4.1%	13.3%	10.5%	25.4%	-0.5%	-31.3%	-13.0%	-3.8%	-1.0%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

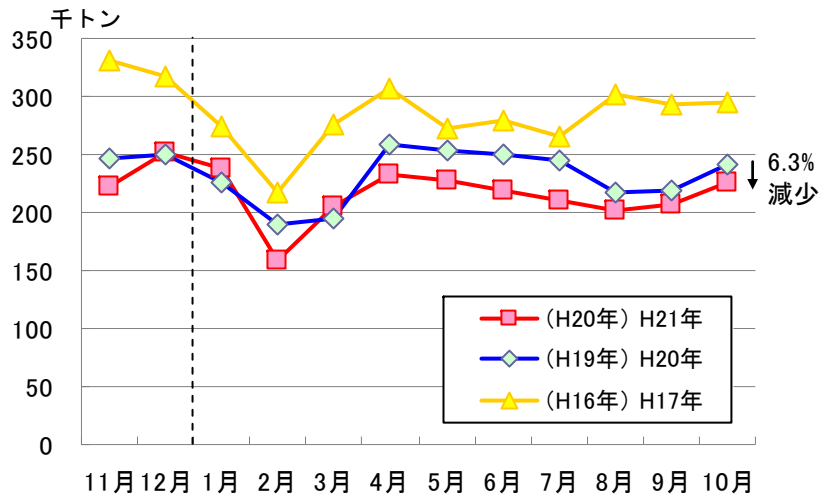
- 注: 1)表中の※については、平成16年合計値との比較である。  
 2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

### 3-② 水産物輸入数量の動向

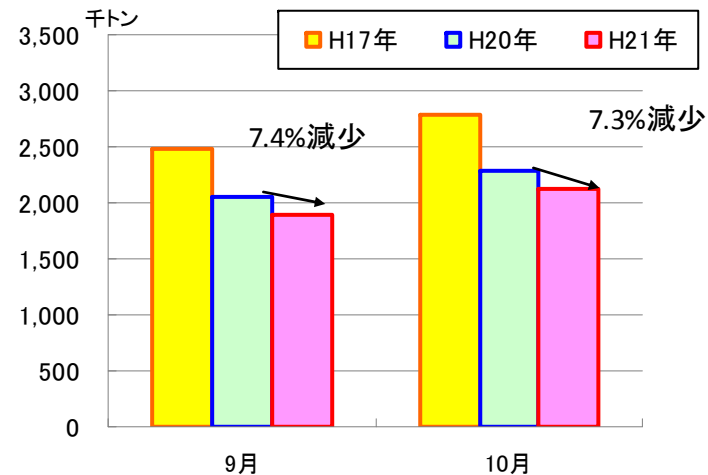
○平成21年10月の水産物輸入量は226千トで、前年同月と比べ6.3%減少した。品目別にみると、たこは、モーリタニア産からの輸入増加により179.3%増加した。また、円高、国内需要の高まりにより、かつお類(45.1%増)、まぐろ類(6.8%増)等で輸入量が増加した。国内生産量が増加している、いか(28.0%減)、さけ・ます(9.2%減)等では輸出量が減少している。

○平成21年の累計水産物輸入量は10月までで2,127千トで、前年同期と比べ7.3%減少した。品目別にみると、円高や国内需要の増加により、かつお類(72.7%増)、たこ(22.0%増)、あさり(31.7%増)等で輸入量が増加。一方、たらでは、米国产すけとうだらの減産により輸入量が23.8%減少した。さけ・ますでは、チリ産銀ざけの減産が影響し、輸入量が5.9%減少。さばは、中国、ノルウェーからの輸入が減少したため、32.8%の減少となった。

■水産物輸入数量の推移



■9月、10月の累計水産物輸入量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21計
輸入	数量(千トン)	2,768	238	159	206	233	227	219	210	202	207	226	2,127
	前年同月比	-4.0%	5.2%	-16.4%	5.9%	-10.3%	-10.1%	-12.0%	-14.5%	-6.8%	-5.4%	-6.3%	-7.3%
	H17年同月比	※-20.6%	-13.3%	-27.1%	-25.5%	-24.3%	-16.5%	-21.4%	-21.2%	-33.0%	-29.3%	-23.5%	-23.6%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

- 注: 1) 表中の※については、平成16年合計値との比較である。  
 2) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

# (参考)品目別の累計輸出入数量

輸出量(千トン)				輸入量(千トン)			
品目	平成21年 1～10月	平成20年 1～10月	前年 同月比	品目	平成21年 1～10月	平成20年 1～10月	前年 同月比
さば(冷蔵・冷凍)	68.6	118.9	-42.3%	魚粉	250.8	249.8	0.4%
すけとうだら(生・蔵・凍)	46.8	32.0	46.2%	さけ・ます(生・蔵・凍)	202.5	215.2	-5.9%
さんま(冷凍)	43.0	36.6	17.4%	まぐろ類(生・蔵・凍)	177.2	179.2	-1.1%
さけ・ます(生・蔵・凍)	32.6	32.0	2.1%	えび(活・生・蔵・凍)	163.7	166.4	-1.6%
まぐろ類(生・蔵・凍)	28.0	21.2	32.5%	たら(生・蔵・凍・すり身)	57.0	74.8	-23.8%
いか(生・蔵・凍)	19.9	26.3	-24.3%	いか(活・生・蔵・凍もんごう含む)	64.7	72.0	-10.2%
かつお類(生・蔵・凍)	17.4	55.9	-68.9%	かに(活・生・蔵・凍)	51.4	56.8	-9.6%
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩・乾)	9.9	10.4	-4.4%	えび(調製)	52.0	52.3	-0.6%
ほや(活・生・蔵)	6.1	5.5	11.9%	ひらめ・かれい(生・蔵・凍)	43.1	50.8	-15.1%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	5.6	6.8	-17.7%	たらの卵(生・蔵・凍)	32.9	40.8	-19.3%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

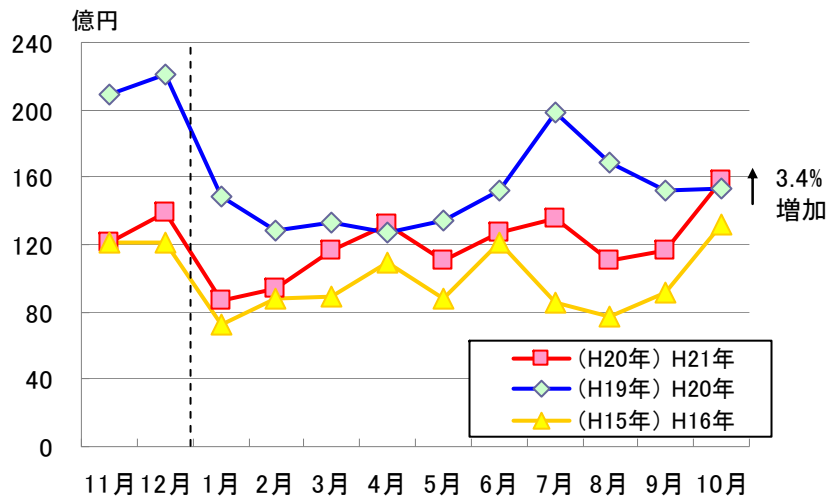
注:1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

## 4-① 水産物輸出金額(真珠を除く)の動向

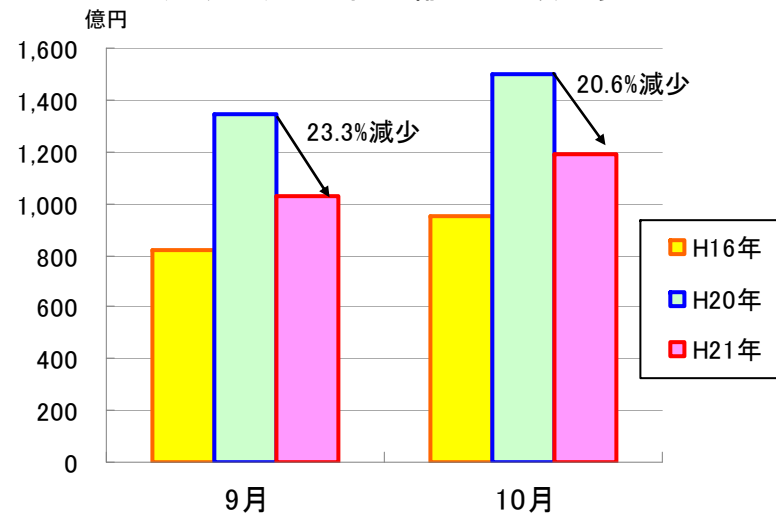
○平成21年10月の水産物輸出金額は159億円で、前年同月と比べ3.4%増加した。これは、乾燥なまこ調製品(52.8%減)、さば(43.6%減)、かつお類(71.5%減)等で輸出金額が減少した以上に、さけ・ます(81.8%増)、貝柱調製品(119.2%増)、すけとうだら(77.3%増)等で輸出金額が増加したためである。

○平成21年の水産物の累計輸出金額(真珠除く)は10月までで1,189億円で、前年同期と比べ20.6%減少した。品目別にみると、ぶり(41.8%増)、さけ・ます(13.1%増)、さば缶詰(226.4%増)等で輸出金額が増加した。円高や世界的な経済不況により、かつお類(80.8%減)、さば(53.8%減)、乾燥なまこ調製品(33.1%減)等で輸出金額が減少した。

■水産物輸出金額の推移(単月ベース)



■9月、10月の累計輸出金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21累計
輸出	金額(億円)	1,772	87	94	116	131	111	128	136	110	116	159	1,189
	前年同月比	-13.1%	-41.5%	-26.7%	-12.7%	3.7%	-17.4%	-16.2%	-31.5%	-34.7%	-23.4%	3.4%	-20.6%
	H16年同月比	※59.5%	20.2%	7.0%	31.2%	19.8%	27.0%	5.7%	58.9%	43.1%	27.6%	20.0%	24.7%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注:1)表中の※については、平成15年合計値との比較である。

2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

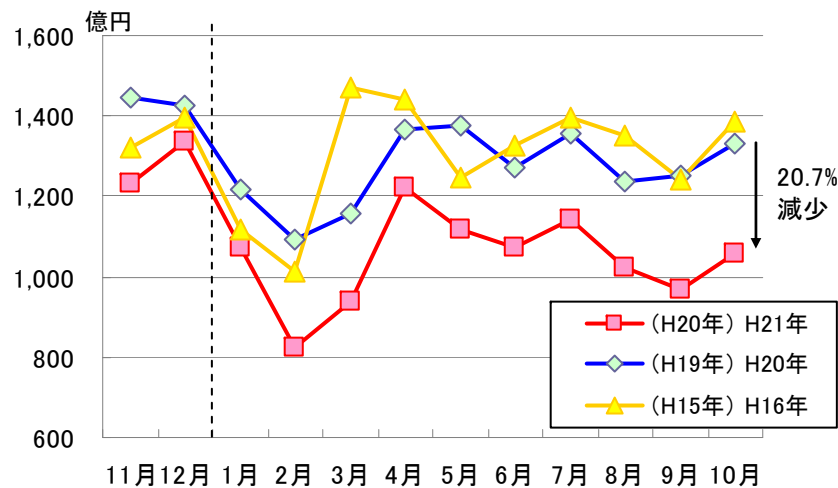


## 4-② 水産物輸入金額(真珠を除く)の動向

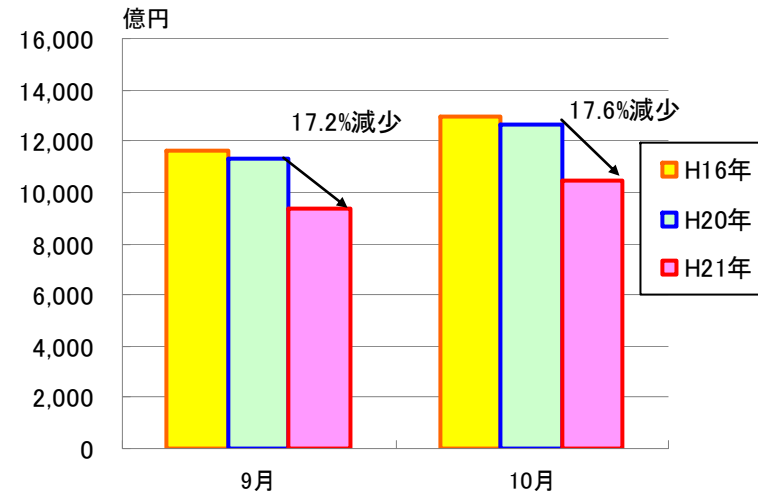
○平成21年10月の水産物輸入金額は1,056億円で、前年同月と比べ20.7%減少した。これは、たこ(113.1%増)、にしんの卵(94.1%増)、さけ科のものの卵(101.3%増)等で輸入金額が増加した以上に、えび(21.5%減)、たら(49.4%減)、かに(36.4%減)等の輸入金額が減少したためである。

○平成21年の水産物の累計輸入金額(真珠除く)は10月までで10,431億円で、前年同期と比べ17.6%減少した。品目別にみると、あさり(30.0%増)、さけ科のものの卵(22.5%増)、にしんの卵(50.8%増)等で輸入金額が増加。国内需要の低迷や円高により、まぐろ類(16.5%減)、えび(14.9%減)等で輸入金額が減少。また、米国の減産により、たらの卵(42.1%減)で輸入金額が減少した。

■水産物輸入金額の推移(単月ベース)



■8月、10月の累計輸入金額の変化



輸入	金額(億円)	H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21累計
		15,249	1,074	823	937	1,220	1,115	1,073	1,141	1,023	969	1,056	10,431
	前年同月比	-3.9%	-11.8%	-24.7%	-19.0%	-10.6%	-18.9%	-15.5%	-15.8%	-17.2%	-22.7%	-20.7%	-17.6%
	H16年同月比	※-0.8%	-3.7%	-18.6%	-36.3%	-15.2%	-10.5%	-19.0%	-18.4%	-24.2%	-22.1%	-23.8%	-19.7%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注:1)表中の※については、平成15年合計値との比較である。

2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

# (参考)品目別の累計輸出入金額

輸出金額(億円)				輸入金額(億円)			
品目	平成21年 1～10月	平成20年 1～10月	前年 同月比	品目	平成21年 1～10月	平成20年 1～10月	前年 同月比
真珠	166.0	285.8	-41.9%	まぐろ類(生・蔵・凍)	1547.7	1852.7	-16.5%
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩・乾)	113.6	132.9	-14.5%	えび(活・生・蔵・凍)	1389.2	1633.1	-14.9%
まぐろ類(生・蔵・凍)	86.8	83.0	4.6%	さけ・ます(生・蔵・凍)	1113.5	1116.9	-0.3%
さけ・ます(生・蔵・凍)	78.9	69.7	13.1%	えび(調製)	417.1	447.5	-6.8%
乾燥なまこ(調製)	76.9	115.1	-33.1%	かに(活・生・蔵・凍)	342.9	489.3	-29.9%
貝柱(調製)	73.1	58.0	25.9%	たらこの卵(生・蔵・凍)	301.9	521.7	-42.1%
さば(冷蔵・冷凍)	62.1	134.4	-53.8%	いか(活・生・蔵・凍もんごう含む)	279.9	328.5	-14.8%
すけとうだら(生・蔵・凍)	59.2	56.1	5.5%	生きている魚	246.6	419.3	-41.2%
魚(生きているもの)	52.2	70.9	-26.3%	魚粉	232.4	263.9	-11.9%
ぶり(生・蔵・凍)	46.5	32.8	41.8%	たこ(活・生・蔵・凍)	225.1	294.9	-23.7%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

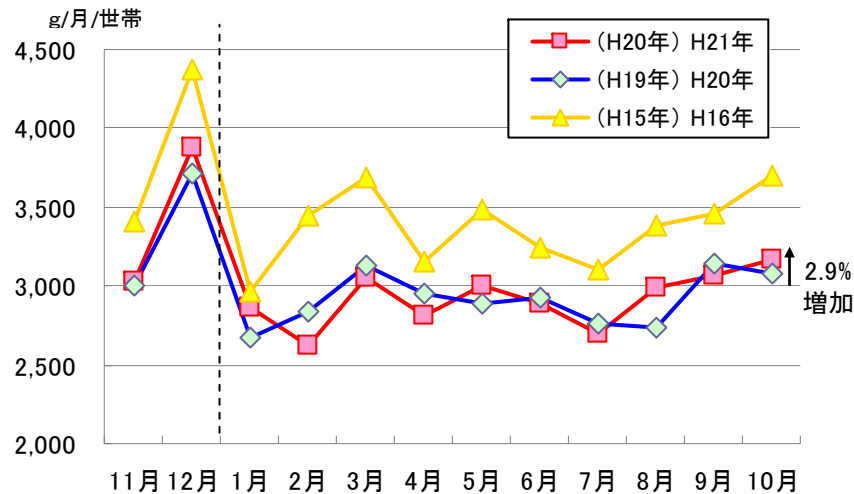
注:1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

## 5-① 生鮮魚介の家計購入数量の動向

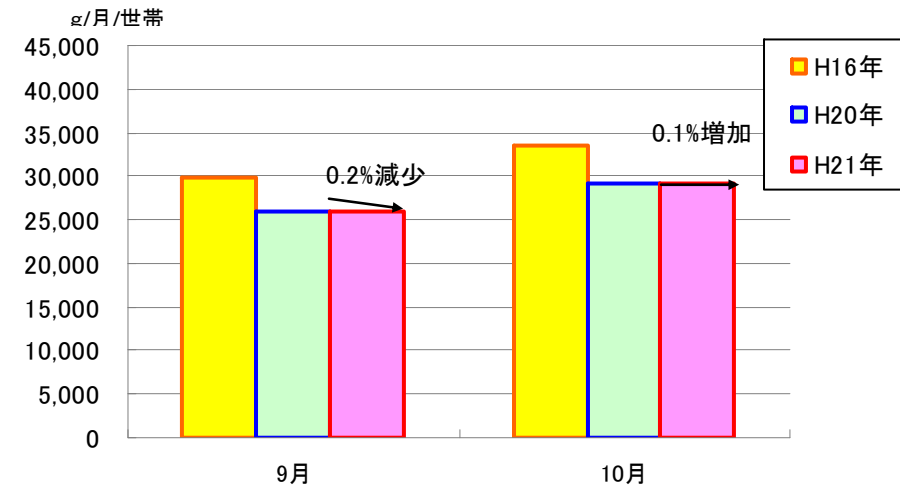
○平成21年10月の生鮮魚介1世帯1月当たりの購入数量は3,164g/月/世帯で、前年同月と比べ2.9%増加した。品目別では、さば(20.7%増)、ほたて貝(33.3%増)、えび(12.5%増)、かき(43.2%増)等で購入数量が増加したものの、いか(14.6%減)、かれい(13.9%減)、あじ(10.7%減)等では購入数量が減少した。

○平成21年の生鮮魚介1世帯1月当たり購入数量(累計)は10月までで29,170g/月/世帯で、前年同期と比べ0.1%増加した。品目別にみると、さんま(11.5%増)、たこ(21.2%増)、えび(6.9%増)、ほたて貝(9.3%増)、たい(10.5%増)等で購入数量が増加したものの、いか(7.0%減)、あじ(5.3%減)、かつお(7.2%減)、あさり(5.2%減)等で購入数量が減少している。

■ 生鮮魚介1世帯1月当たり購入数量の推移累計(単月ベース)



■ 9月、10月の生鮮魚介1世帯1月当たり購入数量(累計)の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21累計
生鮮魚介 購入数量	数量(g/月/世帯)	36,031	2,868	2,626	3,056	2,818	2,997	2,887	2,701	2,989	3,064	3,164	29,170
	前年同月比	-5.0%	7.2%	-7.6%	-2.5%	-4.3%	3.8%	-1.4%	-2.2%	9.0%	-2.3%	2.9%	0.1%
	H16同月比	※-14.9%	-3.2%	-23.8%	-17.1%	-10.6%	-14.1%	-11.0%	-13.1%	-11.6%	-11.3%	-14.4%	-13.2%

資料:総務省「家計調査報告」

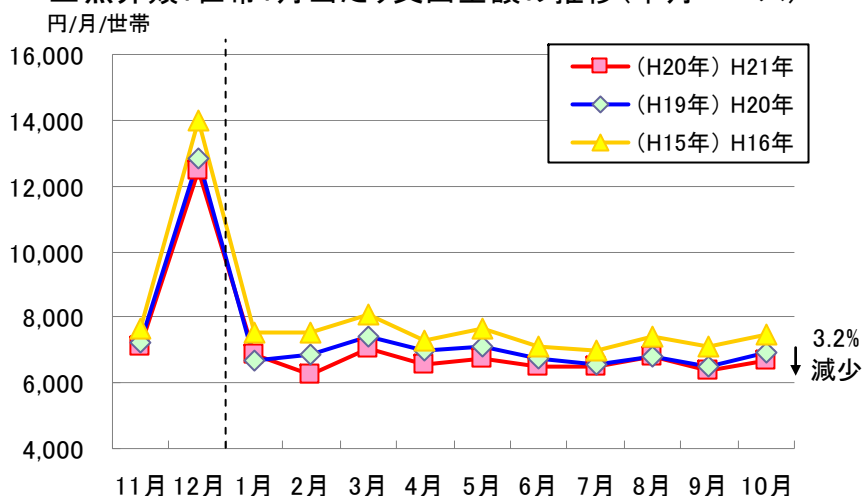
- 注: 1) 表中の※については、平成15年合計値との比較である。  
 2) 本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。  
 3) 生鮮魚介は、鮮魚16品目、貝類5品目の合計である。

## 5-② 魚介類の家計消費支出の動向

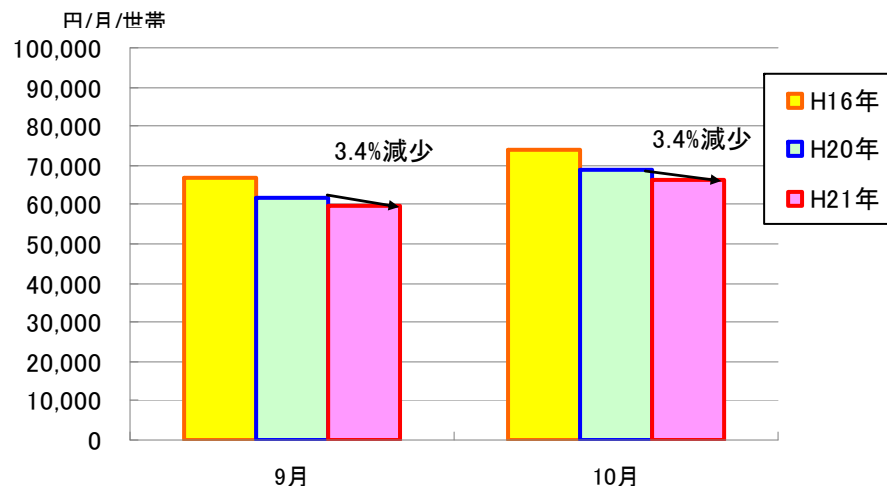
○平成21年10月の魚介類1世帯1月当たりの支出金額は6,681円/月/世帯で、前年同月と比べ3.2%減少した。品目別にみると、生鮮魚介では、かき(24.1%増)、ほたて貝(11.5%増)、さば(9.0%増)、たこ(10.0%増)等で支出金額が増加したものの、いか(15.4%減)、かつお(19.8%減)、あじ(18.0%減)、さんま(7.5%減)等で支出金額が減少した。生鮮魚介以外では、揚げかまぼこ(13.8%減)、たらこ(13.7%減)、塩さけ(14.5%減)等で支出金額が減少した。

○平成21年の魚介類1世帯1月当たり支出金額(累計)は10月までで66,330円/月/世帯で、前年同期と比べ3.4%減少した。品目別にみると、生鮮魚介では、たこ(7.8%増)、えび(2.1%増)、さんま(4.0%増)等の品目で支出金額が増加したものの、いか(7.8%減)、あじ(10.9%減)、かつお(9.1%減)、さしみ盛合わせ(3.1%減)で支出金額が減少した。生鮮魚介以外では、ちくわ(4.9%増)、魚介の缶詰(2.4%増)等の品目で支出金額が増加したものの、たらこ(7.4%減)、かまぼこ(7.0%減)等で支出金額が減少した。

■ 魚介類1世帯1月当たり支出金額の推移(単月ベース)



■ 9月、10月の魚介類1世帯1月当たり支出金額(累計)の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21累計
魚介類 支出金額	金額(円/月/世帯)	88,211	6,851	6,230	7,039	6,573	6,767	6,515	6,494	6,803	6,377	6,681	66,330
	前年同月比	-3.5%	2.3%	-9.6%	-5.0%	-6.0%	-4.9%	-3.7%	-0.9%	0.0%	-2.0%	-3.2%	-3.4%
	H16同月比	※-10.4%	-9.2%	-17.5%	-12.7%	-9.7%	-11.8%	-8.1%	-7.1%	-8.4%	-10.0%	-10.5%	-10.6%

資料:総務省「家計調査報告」

- 注: 1) 表中の※については、平成15年合計値との比較である。  
 2) 本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。  
 3) 魚介類は、生鮮魚介21品目、塩干魚介7品目、魚肉練製品4品目および他の魚介加工品5品目の合計である。

# (参考)品目別の1世帯当たり購入数量及び支出金額

品目	購入数量				支出金額				品目	支出金額			
	平成21年 10月	対前年 同月比	平成21年 1～10月	対前年 同月比	平成21年 10月	対前年 同月比	平成21年 1～10月	対前年 同月比		平成21年 10月	対前年 同月比	平成21年 1～10月	対前年 同月比
鮮魚	2,898	1.5%	26,416	-0.1%	3,626	-3.6%	36,069	-3.6%	塩干魚介	1,198	-6.1%	12,026	-6.4%
まぐろ	188	0.0%	2,032	0.2%	440	1.4%	4,651	-1.7%	塩さけ	147	-14.5%	1,532	-5.5%
あじ	109	-10.7%	1,368	-5.3%	100	-18.0%	1,283	-10.9%	たらこ	221	-13.7%	2,231	-7.4%
いわし	52	2.0%	645	5.9%	41	-2.4%	516	-1.5%	しらす干し	118	-9.2%	1,203	-8.7%
かつお	65	-12.2%	934	-7.2%	97	-19.8%	1,442	-9.1%	干しあじ	85	-2.3%	930	-5.8%
かれい	87	-13.9%	1,059	-0.7%	106	-7.8%	1,247	-7.3%	干しいわし	28	7.7%	329	-7.3%
さけ	305	-2.9%	2,610	1.9%	382	-3.0%	3,452	-1.1%	煮干し	32	-33.3%	314	-15.4%
さば	140	20.7%	1,111	2.5%	121	9.0%	928	-2.9%	他の塩干魚介	567	1.8%	5,487	-5.1%
さんま	433	-2.0%	2,156	11.5%	246	-7.5%	1,303	4.0%	魚肉練製品	741	-4.1%	6,802	-0.6%
たい	55	0.0%	664	10.5%	100	-1.0%	1,076	-4.4%	揚げかまぼこ	237	-13.8%	2,097	0.6%
ぶり	191	5.5%	1,479	0.6%	272	-4.6%	2,336	-5.1%	ちくわ	164	1.2%	1,503	4.9%
いか	252	-14.6%	2,377	-7.0%	209	-15.4%	2,225	-7.8%	かまぼこ	190	-1.6%	2,058	-7.0%
たこ	60	25.0%	680	21.2%	99	10.0%	1,121	7.8%	他の魚肉練製品	149	4.2%	1,139	2.6%
えび	180	12.5%	1,643	6.9%	284	2.9%	2,778	2.1%	他の魚介加工品	748	-1.2%	7,864	-0.8%
かに	39	-13.3%	410	-1.0%	90	-15.1%	882	-5.2%	かつお節・削り節	74	0.0%	782	-0.6%
他の鮮魚	516	12.2%	4,806	-3.6%	654	-1.2%	6,429	-6.4%	魚介の漬物	216	5.4%	2,126	-0.1%
さしみ盛合わせ	148	1.4%	1,631	-2.7%	386	-0.8%	4,397	-3.1%	魚介のつくだ煮	83	0.0%	818	-6.4%
貝類	272	20.4%	2,748	3.1%	369	9.8%	3,570	-0.8%	魚介の缶詰	177	-2.7%	1,992	2.4%
あさり	71	-6.6%	957	-5.2%	70	-4.1%	920	-5.3%	他の魚介加工品の その他	198	-7.0%	2,148	-2.1%
しじみ	32	14.3%	292	8.1%	38	2.7%	386	4.0%					
かき	53	43.2%	358	3.8%	103	24.1%	594	2.2%					
ほたて貝	92	33.3%	812	9.3%	126	11.5%	1,253	1.1%					
他の貝	22	29.4%	296	4.6%	31	0.0%	416	-5.7%					

資料:総務省「家計調査報告」  
(農林漁家世帯を除く2人以上の世帯)

○本資料は、各々の出典に基づいて水産庁漁政部企画課で作成したものであり、本資料中における平成19年及び平成20年合計値は速報値である。

○次回(平成21年11月版)の発行は、平成22年1月中旬の予定であるが、出典の公表時期などにより前後することがある。

お問い合わせ先

水産庁 漁政部 企画課 動向分析班  
担当 長尾

電話:03-3502-8111(内線6578)

直通:03-6744-2344